

# DX化でセキュリティの常識を変革

## 映像ソリューションで安心と安全の領域を拡張へ

### 株式会社ケービデバイス

京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町22番地2 Kbビル

#### 防犯カメラシステム専門メーカー ワンストップだから提供できる安心・安全



当社は、平成12年に設立し、「防犯カメラシステム」の専門メーカーとして、ワンストップで設計・企画開発から販売・施工・保守サービスまで請け負わせて頂くことで「安心・安全」を、スムーズかつ継続的にご提供しています。防犯カメラの設置に際しては豊富な知識・経験・ノウハウがあり、設置場所や台数など、お客様の条件に沿った最適なお提案が可能です。各種商業施設、マンション、オフィスビル、ホテル、銀行、工場、病院、街頭などの様々なシーンで「安心・安全」を提供するため、特に「設置後からの運用（アフターサービス）」を大切に考え、当社独自のカスタマーサポートを展開しています。防犯カメラの役割は設置工事後に始まり、防犯カメラと録画用HDDは24時間365日フル稼働し続けている消耗品です。防犯カメラシステムのレコーダーは家庭用HDDやPCと使用条件が異なり、常時稼働しているため消耗が早いことが指摘されています。そこでレコーダーに機器異常を検知した際、当社からお客様へ通知する「シンプルスマート管理（設置工事からお任せ頂くと5年間無償提供）」というサービスや「あんしん運用サポートプラン（有償）」という、現地対応と無償修理までがセットになったサービスなど、常時稼働を必要とする防犯カメラシステムやサーバー、一般工作機、設備機器などの見守りサービスを提供しています。DX化の推進で防犯映像事業の競争力強化を図り、見守りサービスの様々な分野への展開や、データ活用事業など新たなビジネスの創造にチャレンジし、さらに成長して参ります。

#### DX化への推進で気づいた課題解決方法と プログラミング的思考による業務の最適化

当社の業務はヒアリングから始まります。お客様のご要望や現状の不安や悩みなどをお聞きし、全ての工程を一貫して請け負っています。現場調査後に図面作成、そして機器やサービスなどを選定して提案書・見積書を作成して提出するまでが、受注までのワークフローです。現状では、新人とベテランなど担当者によって提案書・見積書の提出時間に差があります。お客様に負担を掛けることなく、スムーズに、継続的に「安心・安全」をお届けするためには属人化している部分を解消したいという課題がありました。ベテラン社員は長年の知識と経験を背景に現場調査で複数の複雑な条件に対するソリューションを考え、即時に設置イメージ

が展開できるのに対し、新人は経験・ノウハウが少ないため、アドバイスをベテランに受けるなどお客様へのヒアリングから調査～ご提案までの時間がかかっていました。そこで、DX実践講座内のDXプラン策定では属人化の解消と業務効率化・生産性の向上を目指して、「図面・提案書・見積書作成の自動化」を具体的な方向性と設定しました。講座では、プラン策定過程でステークホルダーの巻き込み戦略の重要性や、社内全体にDXを浸透させるためには、管理者層の支持が得られるような内容と計画が必要なことを知りました。そして社内全体にDXへの意識改革を波及させるために、全社員に当事者意識を芽生えさせることが大切であることなどを学びました。そのために、ビジョンや変革の目的・ゴールを設定し、課題を深掘りして、フェーズごとに分けてスケジュールを計画していく考え方は、その他の課題解決にも応用でき、プログラミング的思考を活用した手順や手続きは業務改善や社内ルール変更の際にも役立つ、汎用性の手法であることを知り、大変勉強になりました。

#### 現時点での取り組み状況と課題

専門家派遣では、講師にITコーディネーターの方をお招きして「図面・提案書・見積書作成の自動化」について検討を重ね、AIを活用した作成方法をテストしました。AIによる画像認識と生成は、学習データの品質向上などの技術的な進化を待たねばならず、図面に関して完全自動化は現状では難しいことがわかりました。しかし、AIの別の活用方法として、ベテラン社員が持っている知識・経験・ノウハウを言語化しデータとして収集・活用することで世代や国境を超えた新人教育が可能になると考え取り組み始めました。提案書・見積書作成についても同様に完全自動化は難しいのですが、分類や予測などのタスクはAIを活用することで時間を短縮し、プロトタイプを作成やデータ分析に活かせるよう取り組み始めました。DX化の概念を取り入れたことにより、組織全体を俯瞰して捉えられるようになり、経営的な視点からその他の課題に対してもDX化の概念とDXプランを活用し、費用対効果や優先度を決めてPoC計画を立て、経営陣が納得できるプランを推進していきます。



#### 映像ソリューションで「安心・安全」の領域を拡張へ

受講前は、DX化推進で、業務効率化・生産性の向上を図りスムーズかつ継続的に「安心・安全」をお届けすることが当初の狙いだったのですが、受講後はDX化の概念を取り入れて社員全員の意識改革を促し、様々な社内の変革をもたらしていると考えています。DX化で社員が「安心・安全」に働き続けることができる環境が整えられることや、防犯カメラシステムから発展した映像ソリューション事業をさらに進化させ、Kbブランドの価値をさらに高めることができることなどを丁寧に説明し、「人」にしか生み出せない価値の創出と、安心・安全のその先までを提供できる企業として、今後も社会へ貢献して参ります。